



作：他力野麗奈

イラスト：バレリーツアイジンメイ

ぴよちゃんはクリスマスが大好き! ケーキやおかしが食べられるし、サンタさんからプレゼントをもらえるのが嬉しいのだ。今年のクリスマスは、どんな一日になるんだい?。

「ジングルベル～ジングルベル～鈴が鳴る～」

ぴよちゃんは歌を歌いながら、自分が飾ったクリスマスツリーの飾りを見ていました。

そんなぴよちゃんに、ママの呼ぶ声が聞こえました。

「ぴよちゃん、準備が終わつたわよ。みんなで食べましょ!～」「はい～!」

元気よく返事をするぴよちゃんに、お母さんは笑顔で見ていました。

テーブルの前に座つたぴよちゃんの前には、キラキラと並べられてじゅうたんそうが、たくさんありました。

思わずぴよちゃんは「わあ～!」と嘴を出して喜びました。

「おこしかな～! ママ、食べていい?」

「もかひんとよ、じゅぱ～食べていいか?」

「うん!」

さつそく、ぴよちゃんはじゅうたんを食べ始めました。

ママが作ったじゅうたん、とてもおいしい、ぴよちゃんの心はあつたかくなります。

そして、いよいよ待ちに待つたケーキが来ました。ケーキが目の前に置かれてすぐに、ぴよちゃんはパクッと口の中に入れました。

「おいしぃ～!」

ぴよちゃんは「おいしぃ～!」と囁いて、何個も食べていきました。という間に全部食べ終わつてしましました。

「どうなつせめどした～!」

じゅうたんを食べて嬉しうつなぴよちゃんに、ママは笑顔で囁つてきました。

「それじゃあ、ぴよちゃん。お風呂に入つて寝る準備をしましょうか。夜中にサンタさんがプレゼントを届けに、ぴよちゃんのところに来るんだもんね」

そうです、ぴよちゃんが一番楽しみにしていた、サンタさんのプレゼント。この日のために、どんなプレゼントが来るのかずっと楽しみにしていました。

「うん! 今年もこじ子にしていたから、サンタさん来てくれるよね?」



「ひよかちゃんはいい子にしていたんだもの、きっと来てくれるわよ」

「うんー。」

ひよかちゃんは笑顔でうなずきました。そして、ママと一緒に風呂に入り、後はベッドに入つて眠るだけです。

「おやすみなさい……」

サンタさんが来てますよ！」。そう思しながら、ひよかちゃんは目を閉じました。

次の日の朝、窓から差し込む光に、ひよかちゃんが目を覚ました。

枕もとを見ると、そこにはサンタさんのクリスマスプレゼントがあったのです。

「プレゼントだー！」

プレゼントを開けてみると、可愛いうさぎのぬいぐるみが入つていたのです。

「うさぎやんだー！」

うさぎのぬいぐるみを抱きしめて、ひよかちゃんはママのところに行きました。

「ママ、見てー。サンタさんからプレゼントー。」

「まあ、良かったわね。とっても可愛いぬいぐるみをもらえて」「

ひよかちゃんは、ママに笑つて「うんー。」とうなずきました。

「サンタさん、ありがとー。」

ひよかちゃんは、クリスマスがますます大好きになりました。来年のクリスマスも良い一日になればいいしなと、ひよかちゃんはママと一緒に笑いながら思つていたのでした。

